

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

| | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------------------------|------|------|--------|------------|---------|---|-------|---|----|-----|-----------|
| 事務事業名 | 観光施設整備事業 | | | | 財務会計上の位置付け | 会計 | 款 | 項 | 目 | 細目 | 細々目 | 19予算額(千円) |
| 部等名 | 産業経済部 | 課等名 | 観光課 | | 包含する細々目 | 1 | 7 | 1 | 4 | 11 | 1 | |
| 政策 | 1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり | | | | | | | | | | | |
| 施策 | 11 事業者自らが実施するパワーアップ活動 | | | | | | | | | | | |
| 実施区分 | 継続 | 会計 | 一般会計 | 環境調整会議 | 済み | 関連計画条列等 | | 自然公園法 | | | | |
| | | 事業期間 | 1 | 年度～ | 年度 | | | | | | | |

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

| | | | | | | | | | |
|-------|---------------------|--------------------|----------------------|-------------------------------|----------------|------------|------------|-------------------|----------|
| 目的の記述 | 対象(人や物、自然資源など) | 観光施設 | 対象の大きさを表す対象指標名と単位 | 整備を必要とする観光施設(箇所) | 対象指標の数値 | 現状又は19年度見込 | 23年度又は終了年度 | 23年度以前に終了は終了年度とする | |
| | | | | | | 6 | 30 | | |
| | | | | | | 現状又は19年度見込 | 23年度又は終了年度 | | |
| | 意図(成果は何か、対象をどうかえるか) | 観光客の利便性と快適性の向上を図る。 | 成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位 | 観光地として利便性、快適性が高いと感じる観光客の割合(%) | 成果指標の数値(実績・目標) | 18目標 | 65 | 最終目標 | |
| | | | | | | 18実績 | | 19目標 | ↑ |
| | | | | | | 23目標 | 70 | 23実績 | 最終目標達成年度 |
| | | | | | | 18目標 | | 最終目標 | |
| | | | | | | 18実績 | | 19目標 | ↑ |
| | | | | | | 23目標 | | 23実績 | 最終目標達成年度 |

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

| | | | | | | | |
|-------|---------------|--|--|---|-------------|---------|----|
| 手段の記述 | 事業の全体概要(補足説明) | 観光客の利便性を高め、受入環境を向上させるため、観光著名地等に四阿、看板、遊歩道等の施設を整備する。観光誘客の基本整備はトイレであり、適切な小規模修繕に対応する。団塊の世代が山岳観光に高い関心を示している中で、登山道及び誘導ルート及安全整備を最優先課題として実施する。 | 具体的活動内容(やり方、手順、詳細) | 飯田市が保有する観光施設の良好な管理とエコツーリズムに必要な施設整備を実施する。 ・臼井秘境の東屋設置工事 ・自然遊歩道等の施設整備 ・名桜ライトアップ対象事業地域の安全対策工事 ・天竜峡遊歩道の安全対策工事 ・観光案内看板類の整備と意匠の統一 | 活動量を表す名称・単位 | 箇所数(箇所) | 10 |
| | | 18年度の実績 | | | | | |
| | | | 観光事業の基本となるトイレの小規模改修と、山岳観光を安全に実施するための基本整備を行う。 ・中央アルプス、摺古木山ルートの施設及び登山道整備、案内板整備 ・観光地トイレの小規模修繕(天竜峡、沢城湖、大平) ・信濃路自然遊歩道の整備(野底山/伊賀良) 臨時的事業としてトイレ整備 ・猿庫の泉公衆トイレ新設、飯田駅前公衆トイレ改修 | 箇所数(箇所) | | 10 | |
| | | | 19年度計画 | | | | |

| | | | |
|------------|------------|-----------|-----------|
| <金額の単位:千円> | | 18決算額(見込) | 19予算額(当初) |
| 事業費 | 特定財源 | | 7,000 |
| | 国庫支出金 | | |
| | 県支出金 | | |
| | 起債 | | |
| | その他 | | |
| 一般財源 | 3,000 | 13,000 | |
| 事業費計(A) | 3,000 | 20,000 | |
| 人件費 | 正規職員所要時間 | 18年度 500 | 19年度 500 |
| | 臨時職員等所要時間 | | |
| | 人件費計(B) | 1,788 | 1,788 |
| | トータルコストA+B | 4,788 | 21,788 |

| | |
|-------------|---|
| 特定財源内訳や補足事項 | H19 臨時 16,000千円 猿庫の泉公衆トイレ、飯田駅前トイレ改修 経常 4,000千円 パイオトイレ 1/2 木造公共施設整備事業1/2 |
|-------------|---|

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|------------------------|----------------------|----------|-----------|------|------|------|-----|--|
| 目的の記述 | 結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的 | 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり | 上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位 | 観光消費額(円) | 上位成果指標の数値 | 現状値 | 145 | 19実績 | 150 | |
| | | | | | | 20実績 | | 21実績 | | |
| | | | | | | 22実績 | | 23目標 | 184 | |
| | | | | 経済自立度(%) | 現状値 | | 19実績 | | | |
| | | | | | 20実績 | | 21実績 | | | |
| | | | | | 22実績 | | 23目標 | | | |

| | | |
|---|---|---|
| この事業を開始したきっかけ 観光著名地のトイレや四阿の設置は、観光地としての必須の整備事項であり、地元からの観光誘客増加の要望としても高かった。 | 事業を取り巻く状況の変化 観光客のより快適性を求める旅行嗜好が高まっており、観光地としての質の高さが要求されている。 | 事業に対する市民や議会の意見 地域からの整備要望は多くあり、定期的の実施していく必要がある。また、施設の老朽化等も現れており、さらにはトイレの水洗化や環境に負荷の少ない処理方法によるものなどが求められている。 |
|---|---|---|

【See】18年度の振り返り

| | | | |
|-----------------|---|-----------|--|
| 目的 妥当性 評価 | この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 観光の動向は精神文化の向上に移行しており、滞在型で深く地域を知ることにより目的がおかれつつある。一方でマストゥーリズム観光の重要性もあり、観光地としての安全性・利便性・快適性の向上はこれらを含めた魅力度のアップとなる。このことが総観光客数とリピーターの増加につながる。 | 有効性 評価 | 成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 施設の計画的整備により重要度の高い順に対応することで、より高い成果を出すことができる。看板類に対する影響評価。 |
| | 対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 利便性、快適性の向上に加え、景観にも配慮して行く必要性があるため、現行の対象が良い。 | | 廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 観光地としての評価が低下し、観光入り込み客数の減少を招く。 |
| | 意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 観光客の評価が将来の入り込み客数に影響を与える。 | | 他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合可能 (類似事業名、理由) 観光事業の看板類については、各地区ごとの取り組みがある。飯田市の建設部や民間の企業と協調して事業を推進することも考えられる。 |
| | 市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 観光の基盤整備であり、市の関与が必要である。 | | 他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 不可能 (その理由) 職員は1名であり、必要な関与である。 |
| | 市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 観光の基盤整備であり、市の関与が必要である。 | 効率性 評価 | 成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) 職員は1名であり、必要な関与である。 |
| | | 公平性 評価 | 受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 受益負担はないが、観光の基盤整備であり現行が妥当。 |

【Plan】改革改善

| | |
|--|--|
| 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 具体化 | 何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 エコツーリズムとマストゥーリズムの同時的活性化を図るため、地域に密着した施設の整備を行うとともに、管理に関しても地元で継続的にできる工法を工夫する。 |
| 上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法 | 飯田高原沢城荘周辺の環境整備や天竜峡の歩道再生など大型の整備が必要な箇所があるが、実施計画の策定が不十分である。 |

【補足事項環境側面】

| | | |
|----------------------------|--------|-----------------|
| (1) 環境影響評価の必要性判断 | 必要性がない | (2) 必要性な場合の実施事由 |
| (3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？ | | |

【指摘事項】

| | |
|------------------|--|
| 施策マネジメント会議 | |
| 施策評価会議 | |
| 第5次基本構想基本計画推進委員会 | |